

コミュニティ・スクール計画案

1 コミュニティ・スクールの3つの柱

- (1) 地域住民の学校運営参画
- (2) 地域力を活かした学校支援
- (3) 学校力を活かした地域づくり

2 3つの柱と具体的施策

(1) 地域住民の学校運営参画

- 魅力ある学校づくりを進める。
 - ・学校運営協議会の組織作り ・学校運営協議会の開催（年3回） ・リアル熟議の開催
- 開かれた学級作りを進める。
 - ・「みんなの登校日」の実施と参加率の向上 ・学校行事等への積極的な参観の呼びかけ

(2) 地域を活かした学校支援

- 学校サポーター（ボランティア）の積極的活用を図る。
 - ・読書活動（読み聞かせ、昔語り、図書館の環境づくり等）
 - ・各教科・領域等の活用（下記は例）

社会科（歴史の指導、昔話、社会見学補助）	算数科（そろばん指導等）
生活科（昔遊び、田んぼ、畑、野菜作り等）	図工科（釘打ち、のこぎり、版画等）
音楽科（技能指導、伝統的な楽器等の指導等）	家庭科（裁縫、調理等）
保健体育（保健指導、技能・競技指導等）	

- 地域を知る学習を展開する。（子どもたちが地域に出向く。）
 - ・地域の自然、文化の教材化
 - ・社会科、生活科等の指導内容と関連する地域施設・人材・素材の活用
 - ・「総合的な学習の時間」における地域施設・人材・素材を活用した単元計画
- 「地域であいさつ」運動、「登下校の安全」指導を展開する。
 - ・保小中の連携 ・地域、各種団体との連携 ・子ども安全見守り隊の組織作り

(3) 学校力を活かした地域づくり

- 地域に伝わる伝統文化を大切にする。
 - ・3地域（松ヶ崎、道川、亀田）の伝統文化への積極的な関わり
 - ・伝統文化との関連を図った単元計画の開発
- 子どもたちができる地域貢献を見出し実践する。
 - ・ボランティア活動の実践 ・地域施設との交流
- 学校が魅力ある地域づくりに参画していく。
 - ・地域文化や素材を活かした活動の展開 ・地域イベントへの関わり

3 留意点

- (1) 岩城中学校コミュニティ・スクールとの連携を図る。
- (2) 3地域が統合されたことから、3地域の意見を大切にする。